

平成26年度
県外避難者ニーズ調査の結果について

平成27年2月
宮 城 県

目 次

I 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査対象	1
3	調査方法	1
4	調査期間	1
5	回答数	1
6	報告書の見方	1

II 回答者の属性

1	性別	2
2	年齢	2
3	居住地	3
	(1) 避難先（現在の居住地）	3
	(2) 避難元（震災時の居住地）	3
	(3) 地域別回答分布／回答数順	4
4	被災状況	5
	(1) 被災時の住居の状況（被災状況）	5
	(2) 被災時の住居の状況（罹災証明書）	5
	(3) 被災時の住居の種別	6

III 調査結果

1	避難状況	7
	(1) 宮城県外に避難した理由	7
	(2) 現在の状況	7
	(3) 避難先で同居している人数（本人含む）	8
	(4) 世帯構成	8
	(5) 避難状況	9
	(6) 住民票の異動状況	9
	(7) 現住地の届出状況（全国避難者情報システムなど）	10
	(8) 現在の住居	10
	(9) 住宅の種別の変化（過去1年以内）	11
	(10) 現在の住居へ転居した理由	11
2	健康や生活状況	12
	(1) 体調不良の家族の有無	12
	(2) 体調不良の家族の症状	12
	(3) 体を動かす機会（65歳以上の方がいる世帯のみ）	13
	(4) 現在の生活資金	13
	(5) 今後の就業予定	14
	(6) 仕事の予定のない理由	14
	(7) 相談相手	15
	(8) 現在の生活での困りごとや不安	15
	(9) 避難者交流会への参加意向	16
	(10) 支援内容（都道府県・市町村）	16
	(11) 支援内容（社会福祉協議会やNPO等）	17
	(12) 今後希望する支援	17

3 今後の生活	18
（1）今後の生活予定	18
（2）帰郷の時期	18
（3）決められない主な理由	19
（4）帰郷後の住居	20
（5）宮城県に戻る際心配なこと	20
4 行政からの支援	21
（1）避難元市町村からの情報提供（広報紙）	21
（2）避難元市町村からの情報提供（まちづくり事業等）	21
（3）宮城県からの情報紙等	22
（4）帰郷する上で必要な情報	22
5 個人情報取扱の同意状況	23

I 調査の概要

1 調査目的

宮城県外へ避難されている被災者（以下「県外避難者」という。）の避難状況、帰郷の意思等をアンケート調査し、その結果の集計・分析を行い、情報を市町村や避難先自治体と共有するとともに、さらなる避難生活の安定と帰郷の促進を図ることを目的とする。

2 調査対象

県外避難者（全国避難者情報システム等） 3,410世帯

3 調査方法

郵便により発送し、返信用封筒による回答等

4 調査期間

平成26年9月17日から12月8日まで

5 回答数

1,022世帯（回答率30.0%）

6 報告書の見方

- (1) N (number of cases) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 小数点以下第2位で四捨五入しているため、各回答の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問では、回答比率が100%を超える。
- (4) 図表等で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- (5) 数値は無回答を除く集計によって算出している。

II 回答者の属性

1 性別

回答者の性別については、男性60.0%、女性40.0%となっている。また、世帯全員の性別は、男性45.9%、女性54.1%となっている。

図2-1-1 性別（世帯主）



図2-1-2 性別（世帯全員）



2 年齢

回答者の年齢については、19歳以上65歳未満が59.6%、65歳以上の高齢者は40.1%となっている。また、世帯全員の年齢は、19歳以上65歳未満が51.5%、65歳以上の高齢者は31.7%となっている。

図2-2-1 年齢（世帯主）

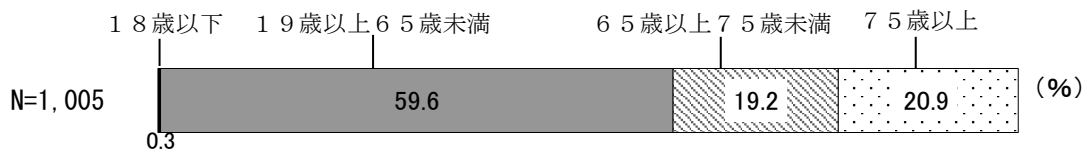
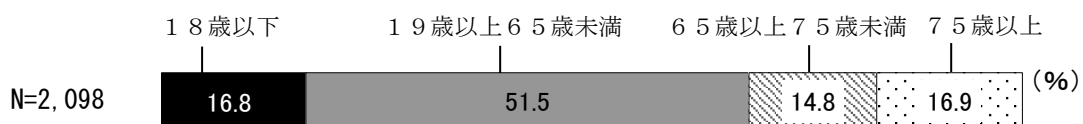


図2-2-2 年齢（世帯全員）

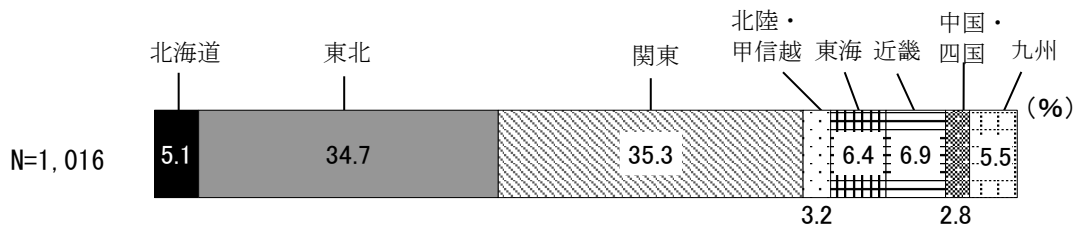


3 居住地

(1) 避難先（現在の居住地）

避難先については、「関東」（35.3%）が最も多く、次いで「東北」（34.7%）、「近畿」（6.9%）、「東海」（6.4%）、「九州」（5.5%）となっている。

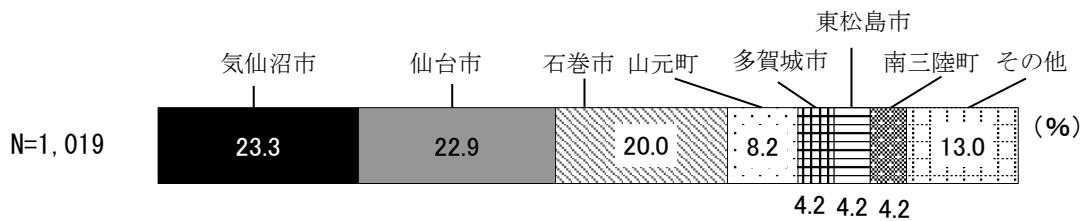
図 2-3-1 避難先（現在の居住地）



(2) 避難元（震災時の居住地）

避難元については、「気仙沼市」（23.3%）が最も多く、次いで「仙台市」（22.9%）「石巻市」（20.0%）などとなっている。

図 2-3-2 避難元（震災時の居住地）



(3) 地域別回答分布／回答数順

都道府県及び県内市町村別の回答分布は以下のとおり。

表2-3-1 地域別回答分布 (回答数順)

被災時 市町村 避難先 都道府県	調査数	気仙沼市	仙台市	石巻市	山元町	多賀城市	東松島市	南三陸町	巨理町	女川町	名取市	塩竈市	岩沼市	登米市	柴田町	丸森町	大崎市	大河原町	利府町	富谷町	角田市	七ヶ浜町	松島町	加美町	涌谷町	白石市	栗原市	蔵王町	七ヶ宿町	村田町	川崎町	大和町	大郷町	大衡村	色麻町	美里町	県外	無回答		
全体	1022	237	233	204	84	43	43	43	30	23	16	14	9	6	5	4	3	3	3	3	3	2	2	1	1	1											6	3		
岩手県	181	136	6	11	4	1	4	14	2			2																										1	-	
東京都	116	17	32	26	5	5	9	5	3	4	6	1		1								1																	1	
神奈川県	92	13	24	23	8	5	4	1	6	2		1	1		1	1																						2	-	
埼玉県	66	7	14	16	6	7	3	5	3		1	1	1			1				1																			-	
北海道	52	6	16	11	5	3	2	1	3	1			1				1	1	1																				-	
山形県	49	2	11	17	2	2	1	2	3		4		1	1	1		1					1																	-	
千葉県	39	4	6	13	8	3	2					3																											-	
秋田県	38	3	11	9	1	4	1	2		2		1		2	1				1																				-	
静岡県	34	8	6	4	2	3	3	2	1	1			2		1																							1	-	
福島県	33	2	1	3	24		1		1	1																													-	
青森県	27	4	7	11		1		1		1		1								1																			-	
宮城県	25	7	4	3	4	1		1		1	1											1																1	1	
栃木県	25		5	8	5	2	1		2	2																													-	
福岡県	25	10	9	2	2				1		1																												-	
大阪府	24	4	12	2	1		1			1	1		1					1																					-	
兵庫県	24		7	4	2	3	1		1	2			1		1	1										1													-	
愛知県	21		11	4	1		1	1	1									1			1																		-	
京都府	14		5	2		3			2		1																										1	-		
広島県	14	2	5	6													1																						-	
茨城県	13	3	1	4		1		1			1	2																											-	
沖縄県	13		5	3				2			1	1		1																									-	
新潟県	9	2	3	1			1	1														1																	-	
長野県	9	1	3	3				1								1																							-	
群馬県	8	2	3	1			1		1																														-	
熊本県	6		3	1			1																			1													-	
石川県	5		3	2																																			-	
岐阜県	5	1		1	1					1										1																			-	
三重県	5		1	2	1	1																																	-	
大分県	5	1	1	1			1			1																													-	
福井県	4		3	1																																			-	
山梨県	4		1	3																																			-	
奈良県	3		2								1																												-	
和歌山県	3		2		1																																		-	
鳥取県	3						1	1																	1														-	
徳島県	3			2											1																								-	
長崎県	3		3																																				-	
鹿児島県	3							1	1					1																									-	
富山県	2		1	1																																			-	
滋賀県	2		1		1																																		-	
島根県	2							1	1																														-	
岡山県	2		2																																				-	
山口県	1		1																																				-	
香川県	1		1																																				-	
愛媛県	1			1																																			-	
高知県	1			1																																			-	
佐賀県	1					1																																	-	
宮崎県																																							-	
無回答	6	2	1	1			1																															1		

4 被災状況

(1) 被災時の住居の状況（被災状況）

被災時の住居の被災状況については、「居住不能（流出等）」（61.4%）が最も多く、6割以上を占めている。

図2-4-1 被災時の住居の状況（被災状況）

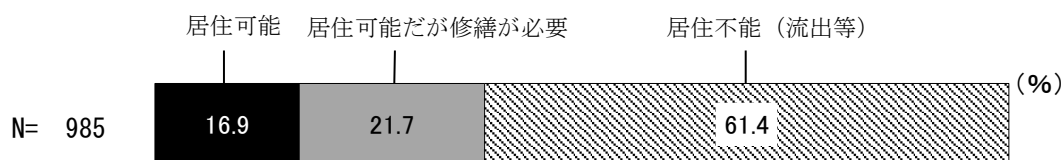
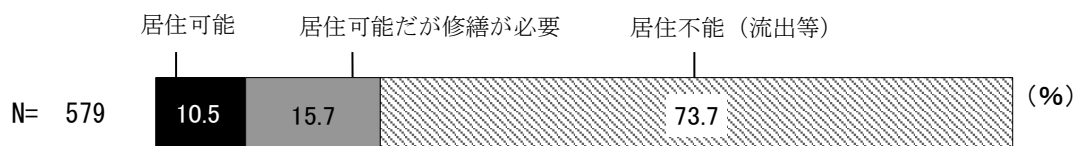


図2-4-2 被災時の住居の状況（被災状況）
＜被災時の住居の種別が「持ち家」の方＞



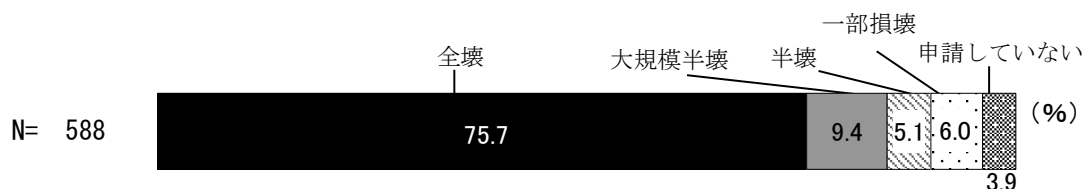
(2) 被災時の住居の状況（罹災証明書）

被災時の住居の罹災証明書の判定内容については、「全壊」（64.0%）が最も多く、6割以上を占めている。

図2-4-3 被災時の住居の状況（罹災証明書）



図2-4-4 被災時の住居の状況（罹災証明書）
＜被災時の住居の種別が「持ち家」の方＞



(3) 被災時の住居の種別

被災時の住居の種別については、「持ち家」(58.7%)が最も多く、過半数を占めている。

図2-4-5 被災時の住居の種別



Ⅲ 調査結果

1 避難状況

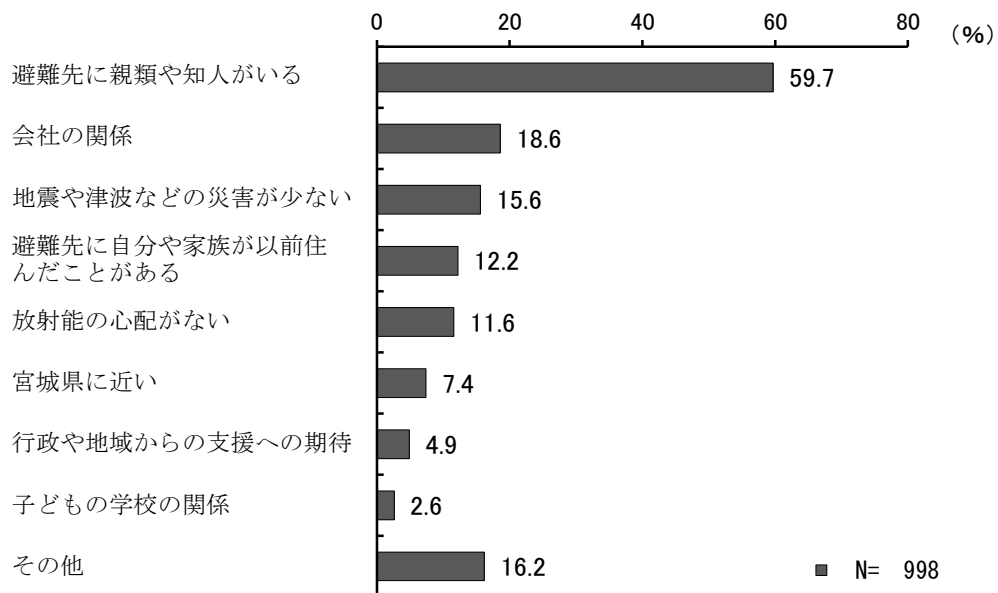
(1) 宮城県外に避難した理由

宮城県外に避難した理由は、「避難先や親類に知人がいる」が59.7%と最も多く、約6割を占める。以下、「会社の関係」(18.6%)、「地震や津波などの災害が少ない」(15.6%)となっている。

問1-1 宮城県外に避難した理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

図3-1-1 宮城県外に避難した理由



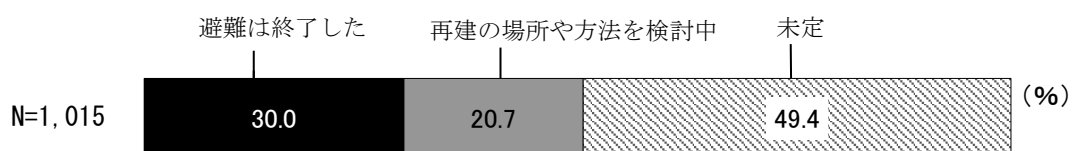
(2) 現在の状況

現在の避難状況については、「未定」と回答した人が49.4%と多く、現在も避難生活の先行きが不明な人が多い。「避難は終了した」と回答した人は全体の3割程度となっている。

問1-2 現在の状況についてお答えください。

(1つだけに○)

図3-1-2 現在の状況

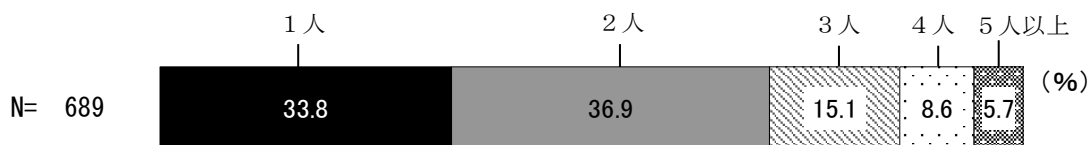


(3) 避難先で同居している人数 (本人含む)

避難先の同居人数については、「2人」(36.9%)が最も多く、次いで「1人」(33.8%)となっている。

問1-3 現在、避難先で同居している人数(避難されている方の人数。本人含む。)は何人ですか。
(1つだけに○)

図3-1-3 避難先で同居している人数 (本人含む)

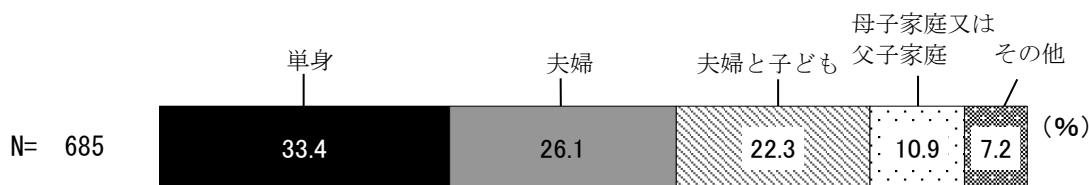


(4) 世帯構成

現在の世帯構成については、「単身世帯」(33.4%)が最も多く、次いで「夫婦」(26.1%)、「夫婦と子ども」(22.3%)となっている。

問1-4 現在の世帯構成をお答えください。
(1つだけに○)

図3-1-4 世帯構成



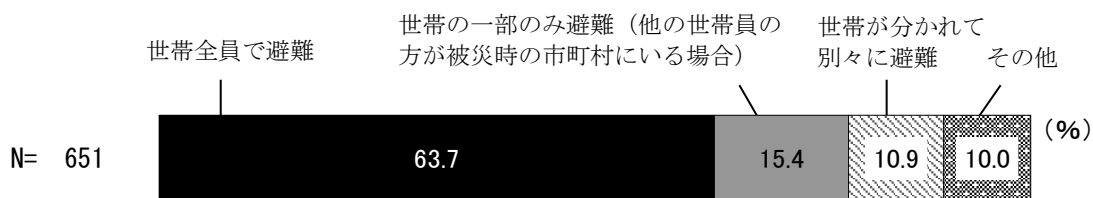
(5) 避難状況

避難状況については、「世帯全員で避難」が63.7%と最も多く、6割以上となっている。

問2 現在の避難状況についてお答えください。

(1つだけに○)

図3-1-5 避難状況



(6) 住民票の異動状況

住民票の異動状況については、「家族全員が異動」(59.5%)が最も多く、「家族の一部が異動」(14.1%)と合わせると、全体の約4分の3が異動の届出をしている。

問3-1 届出の状況について伺います。住民票を異動していますか。

(1つだけに○)

図3-1-6 住民票の異動状況

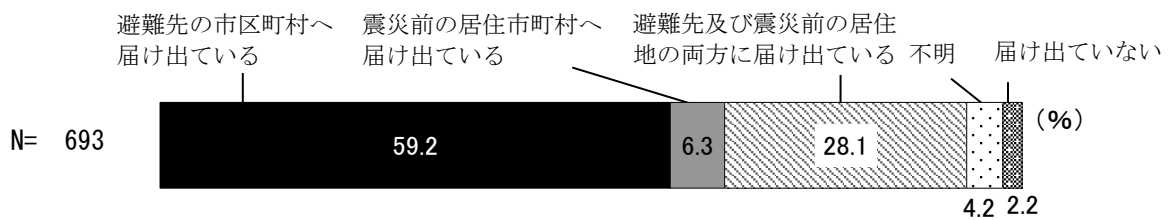


(7) 現住地の届出状況 (全国避難者情報システムなど)

現住地の市区町村への届出状況については、「避難先の市区町村へ届け出ている」(59.2%)が最も多く、「避難先及び震災前の居住地の両方に届け出ている」世帯は全体の3割弱となっている。

問3-2 現在避難している居住地を市区町村に届け出ていますか(全国避難者情報システムなど)。(1つだけに○)

図3-1-7 現住地の届出状況 (全国避難者情報システムなど)

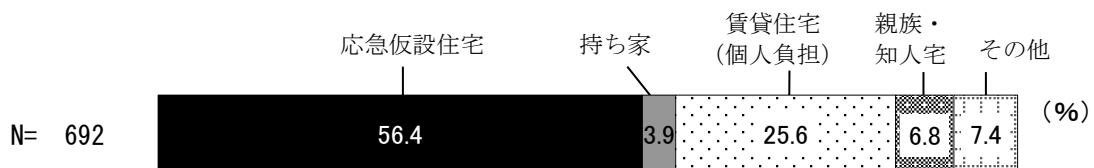


(8) 現在の住居

現在の住居については、「応急仮設住宅」(56.4%)が最も多く、「賃貸住宅(個人負担)」(25.6%)、「親族・知人宅」(6.8%)、「持ち家」(3.9%)など、自力で住居を確保している世帯は3割程度にとどまっている。

問4 現在の住居について、あてはまるものをお答えください。(1つだけに○)

図3-1-8 現在の住居



(9) 住宅の種別の変化（過去1年以内）

過去1年間での住宅種別の変化については、約9割が「変わらない」と回答している。

問5 過去1年以内に転居して住宅の種別が変わりましたか。

(1つだけに○)

図3-1-9 住宅の種別の変化（過去1年以内）



(10) 現在の住居へ転居した理由

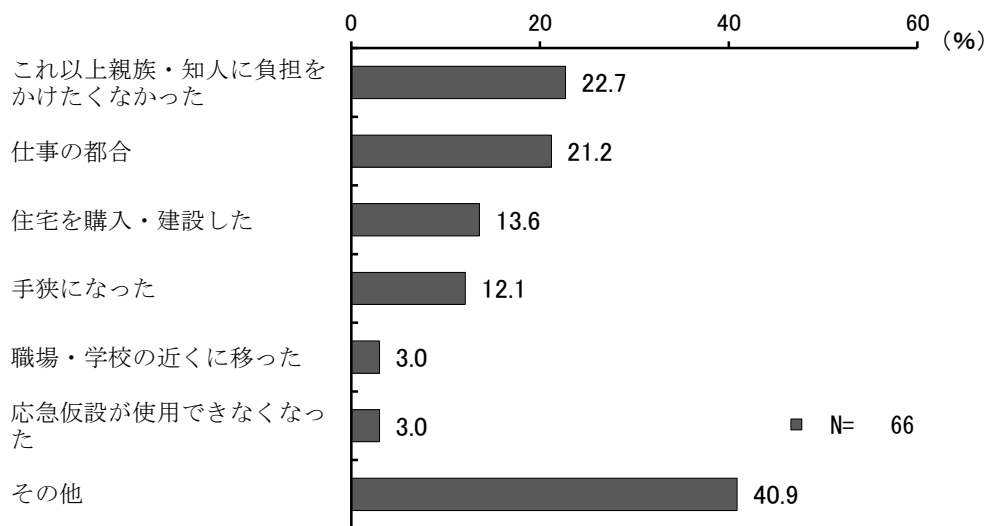
現在の住居へ転居した理由は、「これ以上親族・知人に負担をかけたくなかった」が22.7%と最も多く、以下、「仕事の都合」(21.2%)、「住宅を購入・建設した」(13.6%)となっている。

【問5で「1.変わった」と回答した人のみ】

問6 現在のお住まいへ転居された理由はなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

図3-1-10 現在の住居へ転居した理由



2 健康や生活状況

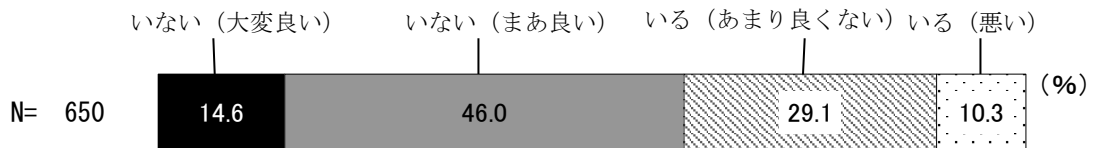
(1) 体調不良の家族の有無

体調不良の家族がいるかどうかについては、「いない」が60.6%、「いる」は39.4%となっている。

問7-1 あなたと一緒に避難されているご家族の中に体調が良くない方はいますか。

(1つだけに○)

図3-2-1 体調不良の家族の有無



(2) 体調不良の家族の症状

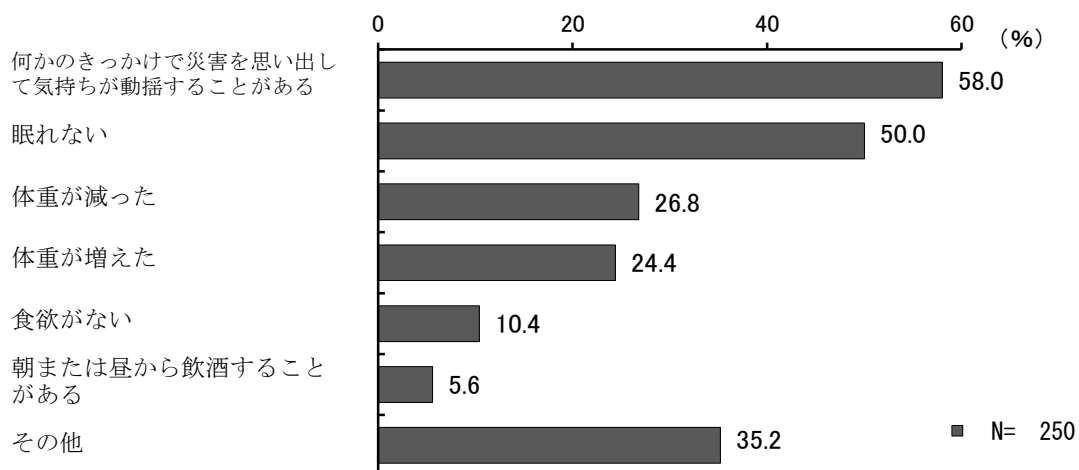
体調不良の家族が「いる (あまり良くない)」または「いる (悪い)」と回答した方の症状については、「何かのきっかけで災害を思い出して気持ちが動揺することがある」が58.0%と最も多い。

【問7-1で「3.いる(あまり良くない)」または「4.いる(悪い)」と回答した人のみ】

問7-2 あなたと一緒に避難されているご家族の現在の状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

図3-2-2 体調不良の家族の症状



(3) 体を動かす機会（65歳以上の方がいる世帯のみ）

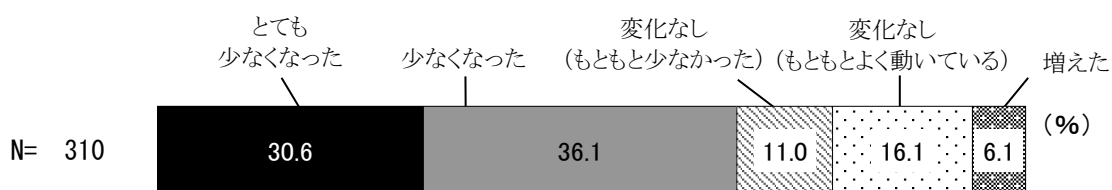
65歳以上の方の体を動かす機会については、「少なくなった」（36.1%）世帯が最も多く、「とても少なくなった」（30.6%）と合わせると、運動の機会が減少した方は全体の3分の2を占める。

【本人または家族が65歳以上の場合のみ】

問8 震災前に比べて、日頃の生活で体を動かす機会はどうになりましたか。

(1つだけに○)

図3-2-3 体を動かす機会（65歳以上の方がいる世帯のみ）



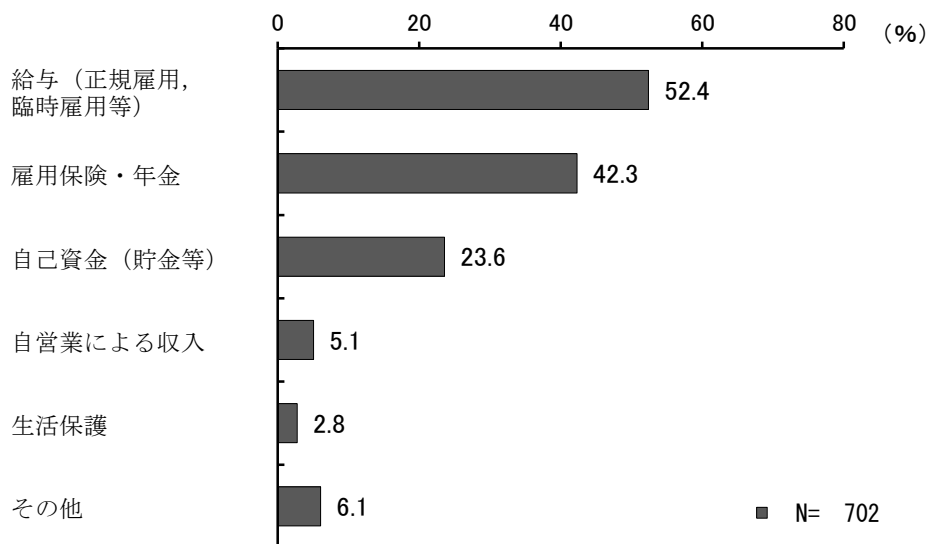
(4) 現在の生活資金

現在の生活資金については、「給与（正規雇用、臨時雇用等）」（52.4%）が最も多く、次いで「雇用保険・年金」（42.3%）、「自己資金（貯金等）」（23.6%）となっている。

問9 現在の生活資金についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

図3-2-4 現在の生活資金



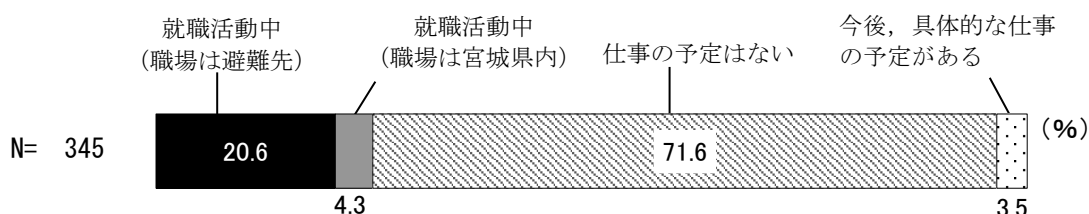
(5) 今後の就業予定

現在仕事をしていない方の今後の就業予定については、「仕事の予定はない」(71.6%)が圧倒的に多い。「就職活動中」は「職場は避難先」(20.6%)と「職場は宮城県内」(4.3%)を合わせて約2割となっている。

問10-1 今後の仕事の予定についてお答えください。(現在仕事をしていない方)

(1つだけに○)

図3-2-5 今後の就業予定



(6) 仕事の予定のない理由

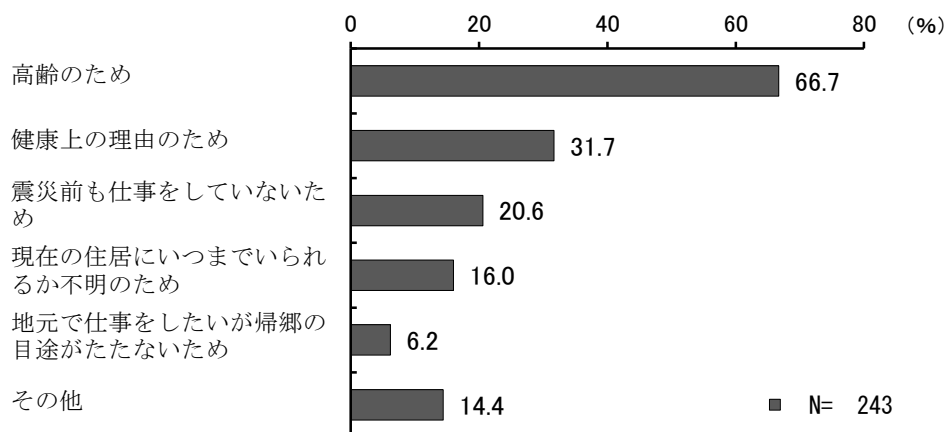
「仕事の予定がない」と回答した理由としては、「高齢のため」(66.7%)が最も多く、次いで「健康上の理由のため」(31.7%)、「震災前も仕事をしていないため」(20.6%)となっている。

【問10-1で「3.仕事の予定はない」と回答した人のみ】

問10-2 仕事の予定がない場合の理由についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

図3-2-6 仕事の予定のない理由



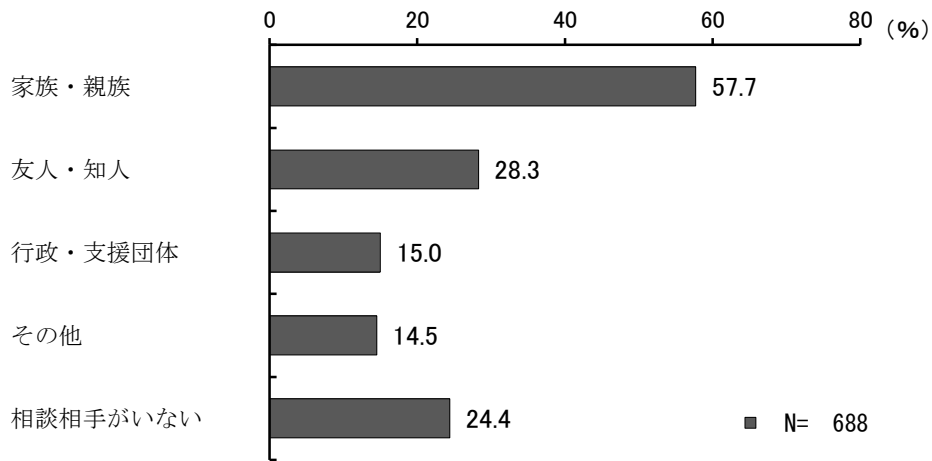
(7) 相談相手

相談相手については、「家族・親族」(57.7%)が最も多く、次いで「友人・知人」(28.3%)、「相談相手がない」(24.4%)となっている。

問11 避難先でのご相談相手はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

図3-2-7 相談相手



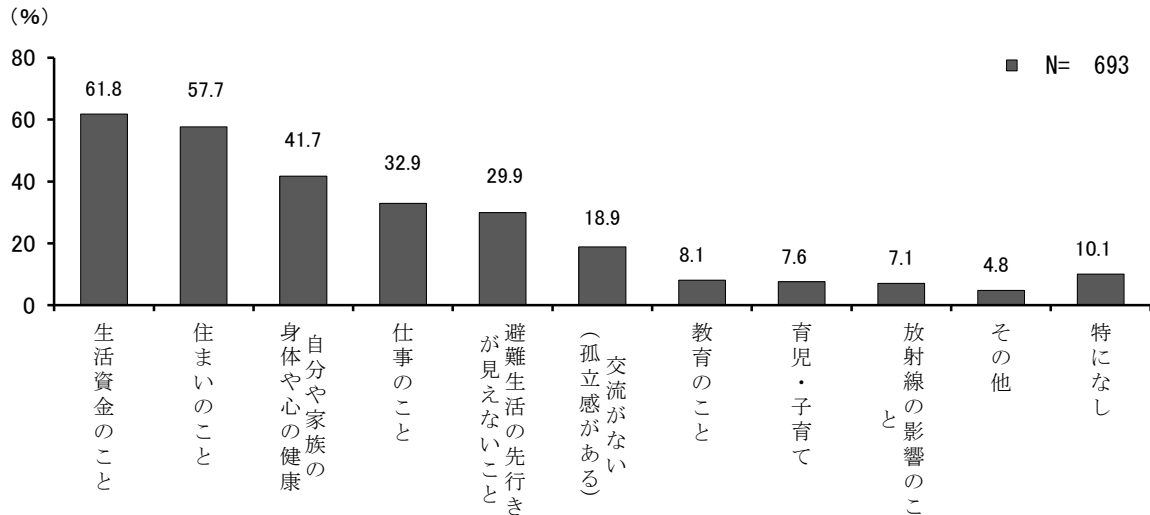
(8) 現在の生活での困りごとや不安

現在の生活で困っていることや不安なことは、「生活資金のこと」(61.8%)が最も多く、次いで「住まいのこと」(57.7%)、「自分や家族の身体や心の健康」(41.7%)となっている。

問12 今の生活で困っていること、不安なことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

図3-2-8 現在の生活での困りごとや不安

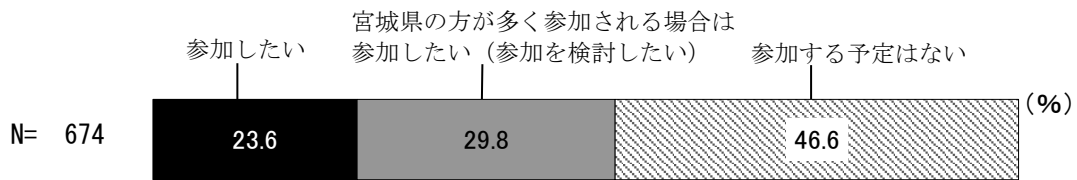


(9) 避難者交流会への参加意向

避難者交流会への参加意向については、「参加したい」(23.6%)と「宮城県の方が多く参加される場合は参加したい(参加を検討したい)」(29.8%)を合わせると、参加意向のある世帯が過半数を占めている。

問13 避難先で避難者交流会や交流サロンなどが開催されている場合、参加したいと思いますか。(1つだけに○)

図3-2-9 避難者交流会への参加意向

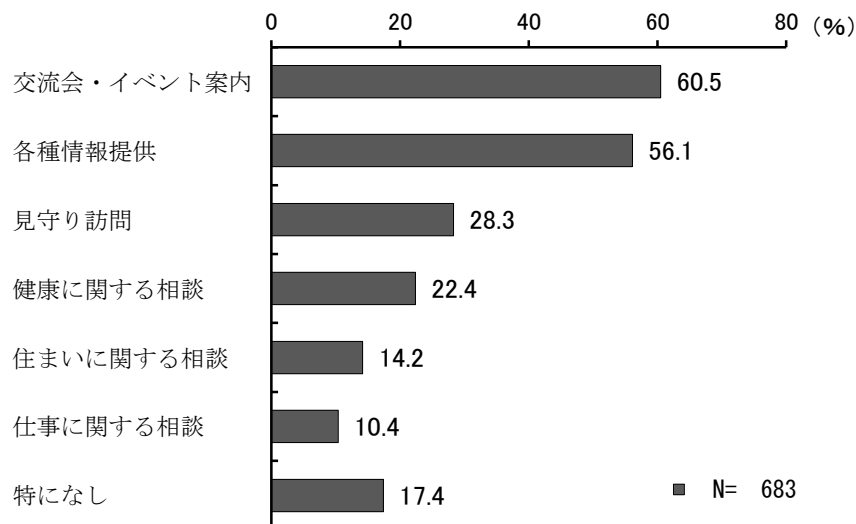


(10) 支援内容(都道府県・市町村)

都道府県・市区町村からの支援内容については、「交流会・イベント案内」(60.5%)が最も多く、次いで「各種情報提供」(56.1%)となっており、約8割を超える世帯が都道府県・市区町村から支援を受けている。

問14-1 避難先の都道府県・市区町村から情報提供等の支援を受けた内容について、当てはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図3-2-10 支援内容(都道府県・市町村)

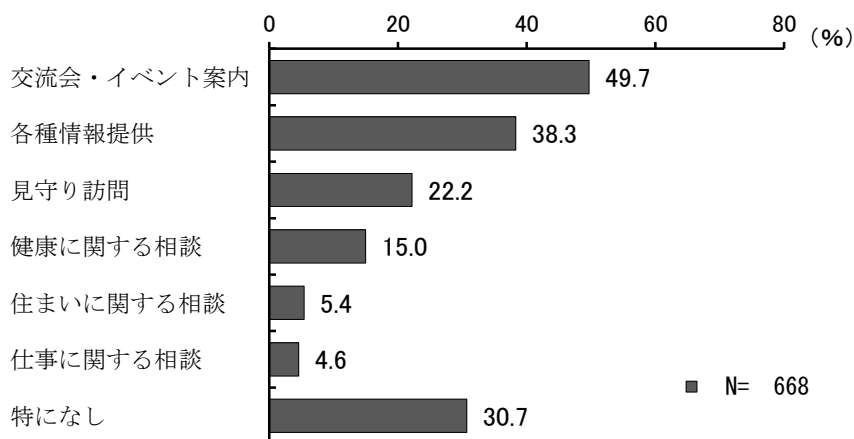


(11) 支援内容（社会福祉協議会やNPO等）

社会福祉協議会やNPO等からの支援内容については、「交流会・イベント案内」（49.7%）が最も多く、次いで「各種情報提供」（38.3%）となっており、約7割の世帯が社会福祉協議会やNPO等民間支援団体から支援を受けている。

問14-2 避難先の社会福祉協議会やNPO等民間支援団体から情報提供等の支援を受けた内容について、当てはまるものをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

図3-2-1 1 支援内容（社会福祉協議会やNPO等）

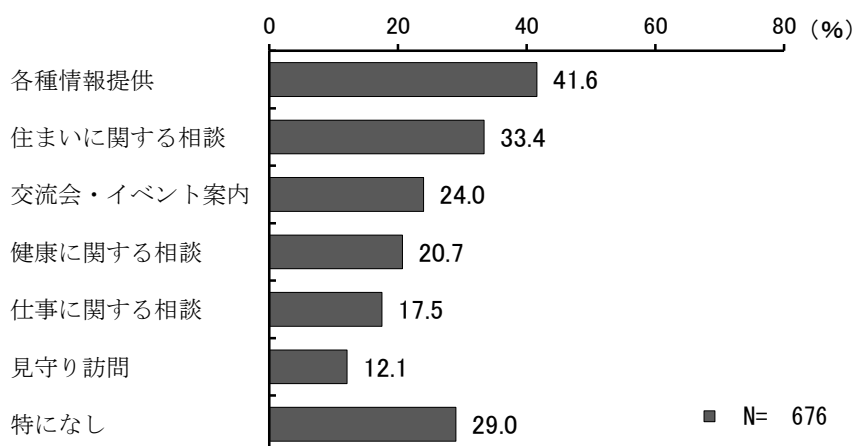


(12) 今後希望する支援

今後希望する支援内容については、「各種情報提供」（41.6%）が最も多く、次いで「住まいに関する相談」（33.4%）となっており、約7割の世帯が何らかの支援を求めている。

問14-3 今後、希望する支援はありますか。
当てはまるものをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

図3-2-1 2 今後希望する支援



3 今後の生活

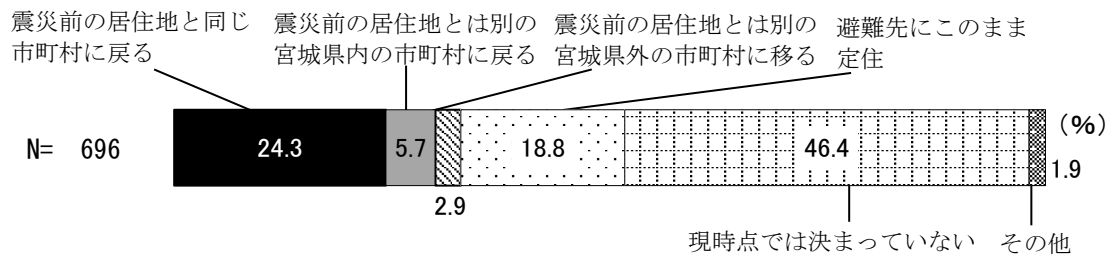
(1) 今後の生活予定

今後の生活予定については、「現時点では決まっていない」(46.4%)が最も多く、次いで「震災前の居住地と同じ市町村に戻る」(24.3%)、「避難先にこのまま定住」(18.8%)となっている。宮城県への帰郷意向のある世帯は「震災前の居住地と同じ市町村に戻る」と「震災前の居住地とは別の宮城県内の市町村に戻る」(5.7%)を合わせて30.0%となっている。

問15 今後の生活の予定についてお答えください。

(1つだけに○)

図3-3-1 今後の生活予定



(2) 帰郷の時期

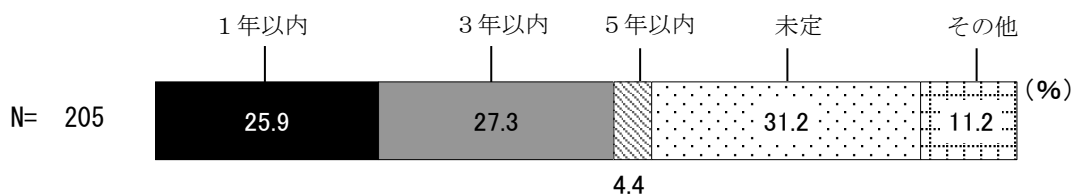
宮城県に帰郷意向のある世帯に帰郷の時期を尋ねたところ、「未定」(31.2%)が最も多く、次いで「3年以内」(27.3%)、「1年以内」(25.9%)となっている。

【県内に帰郷の意向のある世帯】

問16 宮城県に戻る場合において、希望される帰郷の時期はいつごろですか。

(1つだけに○)

図3-3-2 帰郷の時期



(3) 決められない主な理由

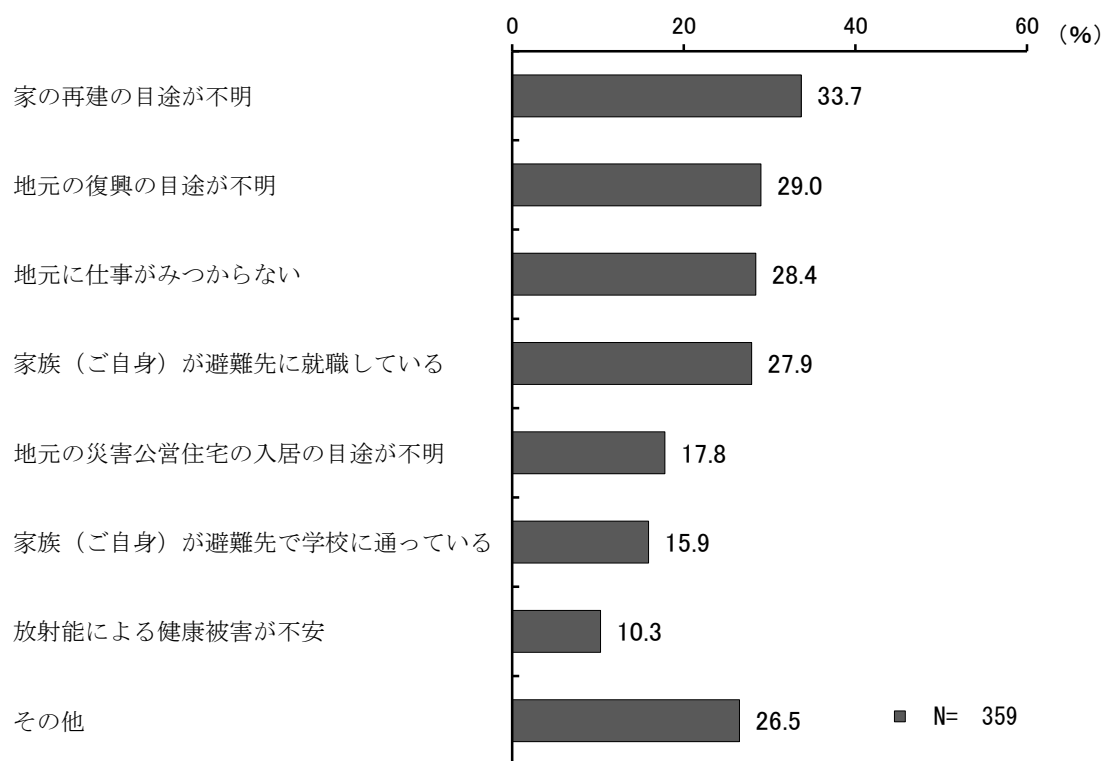
帰郷意向や帰郷時期が未定と回答した人にその理由を尋ねたところ、「家の再建の目途が不明」(33.7%)が最も多く、次いで「地元の復興の目途が不明」(29.0%)、「地元の仕事がみつからない」(28.4%)となっている。

【帰郷意向が未定、または帰郷時期が未定の方】

問17 決められない主な理由は何でしょうか。当てはまるものをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

図 3-3-3 決められない主な理由



(4) 帰郷後の住居

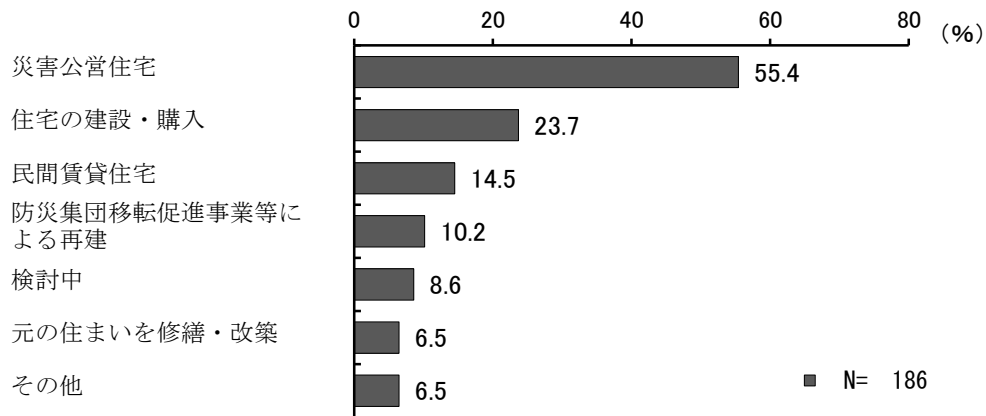
宮城県に帰郷意向のある世帯に希望の住居形態を尋ねたところ、「災害公営住宅」(55.4%)が最も多く、次いで「住宅の建設・購入」(23.7%)、「民間賃貸住宅」(14.5%)となっている。

【県内に帰郷の意向のある世帯】

問18 宮城県に戻る場合において、今後のお住まいの希望をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

図3-3-4 帰郷後の住居



(5) 宮城県に戻る際心配なこと

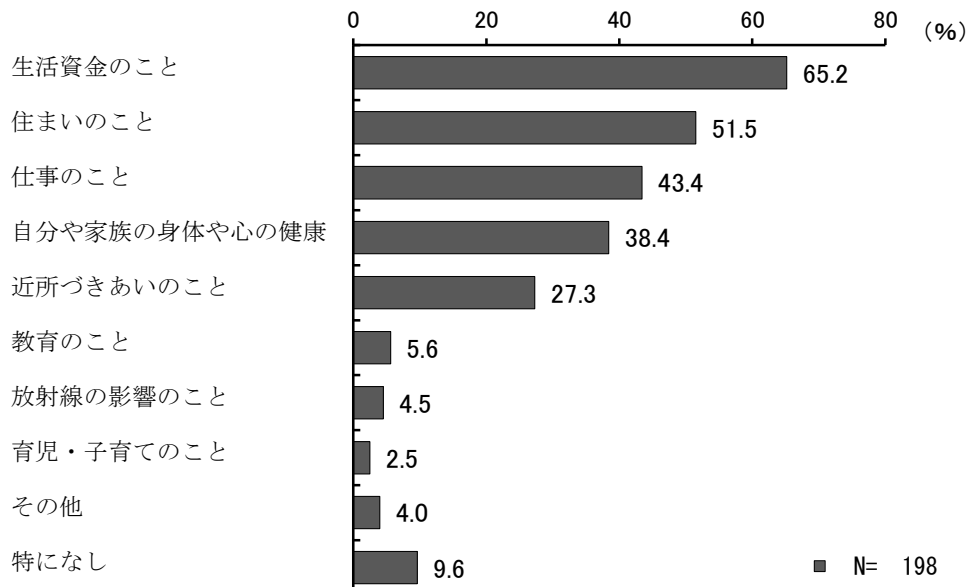
宮城県に帰郷意向のある世帯に帰郷の際の心配ごとを尋ねたところ、「生活資金のこと」(65.2%)が最も多く、次いで、「住まいのこと」(51.5%)となっている。

【県内に帰郷の意向のある世帯】

問19 宮城県に戻る場合において、心配なことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

図3-3-5 宮城県に戻る際心配なこと



4 行政からの支援

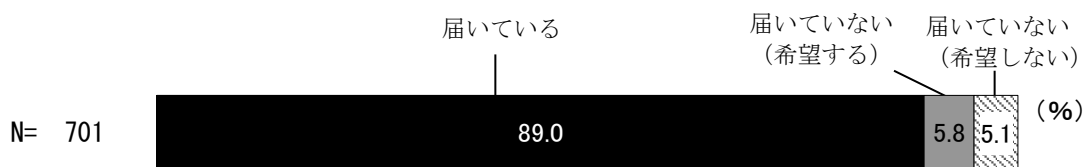
(1) 避難元市町村からの情報提供（広報紙）

避難元の市町村から広報紙が届いているかについては、「届いている」が89.0%と9割弱を占めている。

問20 現在、避難元市町村から広報紙が届いていますか。

(1つだけに○)

図3-4-1 避難元市町村からの情報提供（広報紙）



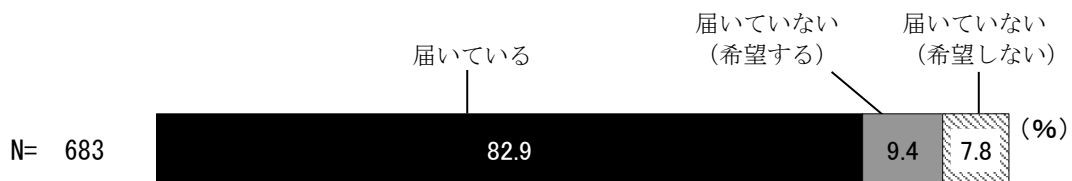
(2) 避難元市町村からの情報提供（まちづくり事業等）

避難元の市町村からのまちづくり事業等に関する情報提供の有無については、「届いている」が82.9%と8割以上を占めている。

問21 避難元市町村からまちづくり事業や災害公営住宅等の情報提供や意向確認が届いていますか。

(1つだけに○)

図3-4-2 避難元市町村からの情報提供（まちづくり事業等）

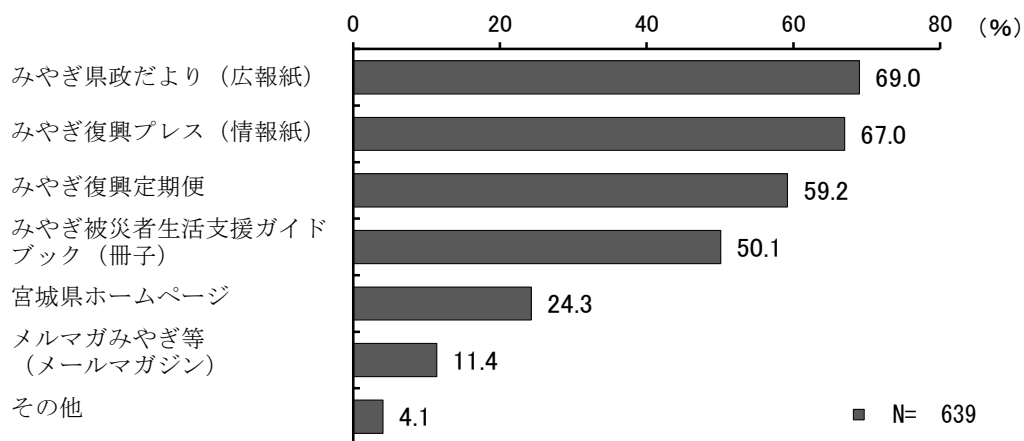


(3) 宮城県からの情報紙等

宮城県が提供している情報で閲覧しているものは、「みやぎ県政だより（広報紙）」（69.0%）が最も多く、次いで「みやぎ復興プレス（情報紙）」（67.0%）、「みやぎ復興定期便」（59.2%）となっている。

問22 宮城県が情報提供や発行している内容について、ご覧になられているものはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

図3-4-3 宮城県からの情報紙等

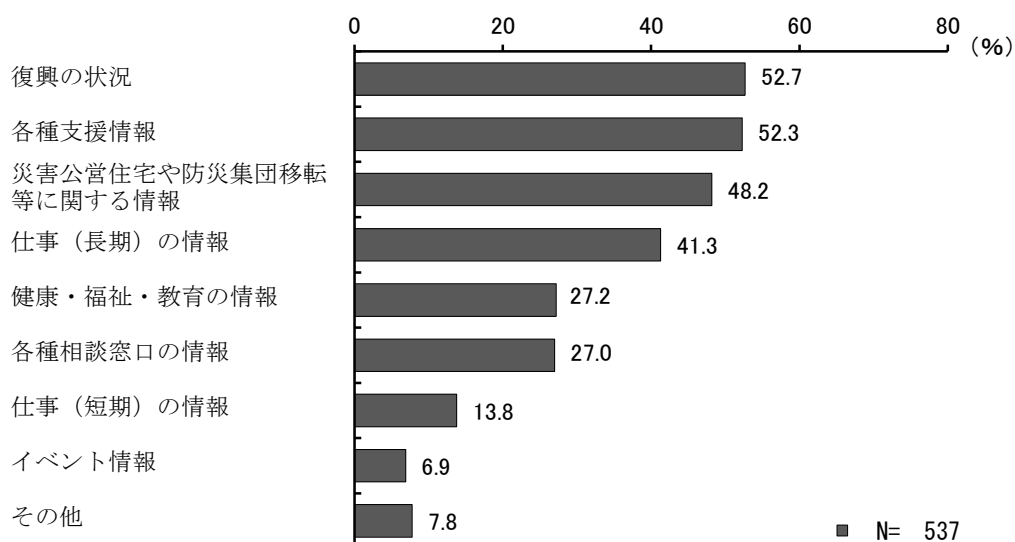


(4) 帰郷する上で必要な情報

宮城県に帰郷する上で必要な情報については、「復興の状況」（52.7%）が最も多く、次いで「各種支援情報」（52.3%）、「災害公営住宅や防災集団移転等に関する情報」（48.2%）となっている。

問23 宮城県に戻る上で、どのような情報が必要ですか。
（あてはまるものすべてに○）

図3-4-4 帰郷する上で必要な情報



5 個人情報取扱の同意状況

本調査では、目的や必要に応じて民間支援団体等への個人情報提供の意思確認をおこなった。その結果、「同意する」との回答が55.2%となっている。

図 3-5-1 同意状況



平成26年度県外避難者ニーズ調査

発行年月 平成27年2月

発行 宮城県震災復興・企画部震災復興推進課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

電 話 022-211-2408

F A X 022-211-2493

メー ル fukusuif2@pref.miyagi.jp